

今年も地域のためにがんばります！



▲毎年恒例の消防出初式を須坂小学校グラウンドで開催。消防団員や消防職員など約540人が参加し、服装点検や分列行進などを行いました。



さくら…消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

2009 4
(平成21年)

須坂市消防団広報紙

地域に根ざす

消防団めざして



須坂市消防団長
よだ ひろあき
依田 浩明

最近では地域環境の変化のせいか自然災害が頻発しているように思います。大地震・大洪水・大型台風・土石流、これらの災害を受けた時、いかに災害を小さくするか、いかに早く生活を回復するか、それはそれぞれの地域が持つ力に関わっていると言われています。区の組織、近隣所との関係、地域の様々な組織、それら総合的な力が地域の安全をささえる力になります。

「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉とする消防団もその一翼を担う組織です。予防消防・災害出動・避難誘導、各種訓練等活動内容は様々ですが、それらは地域の皆さんに信頼されてこそできる活動です。日頃から地域の人達と連携をとり、地域に根ざした消防団をさらに発展させていきたいと思えます。

魅力ある消防団員



須坂市長
きむら まさお
三木 正夫

消防団長の指揮下での一糸乱れぬ体を張っての活動に敬意と感謝を感じています。特に平成十八年七月の水防活動は国土交通省でも紹介されました。

長野県ラッパ吹奏大会において八連覇を遂げ、日本一との評価を受けているラッパ隊は、東京で行われた自治体消防六十周年記念式典や地域総合防災力展で吹奏を行い、須坂市消防団を全国に知らしめました。

早朝練習、大会、懇親会等では厳しさの中にも和気あいあいの絆を感じます。団員として活躍している市職員は、市職員としても活躍しています。退団される幹部の言葉には家族、地域、消防団への愛情と責任感があります。魅力的な人間を消防団は一層魅力的にすると思えます。

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、「大切な家族や地域を守りたい」そんな思いで活動している人間の集まりです。

地域総合防災力展



▲「地域総合防災力展」：東京ビックサイトで開催され、全国の消防団を代表して須坂市消防団ラッパ隊がラッパ吹奏をしました。(10月11日)



▲「火災防ぎょ訓練」…須坂市イランド町において、区民・消防団等多くの人が参加し行われました。(11月9日)



▲「歳末夜警(12月26日～30日)」：三本市長が巡察し、激励を受けました。(12月29日)



▲「S-KYT(消防団危険予知訓練)研修」：今年で3回目の研修会が開催され、多くの幹部団員が出席しました。(2月22日)



▲「ラッパパレード」：10分団管内(米子町や亀倉町、夏雄町、塩野町など)をラッパ隊がパレードをしました。(11月2日)



▲「規律担当者訓練」…各部隊担当者を対象に規律訓練が行われました。(3月13日)



▲「火災防ぎょ訓練」：本久デイツー須坂インター店で、従業員・消防団等多くの人が参加し行われました。(3月1日)

写真で見る 消防団の活動 (10月～3月)

満員御礼！ 音楽隊が毎年恒例の定期演奏会を開催



▲昨年の演奏会(楽しいダンスは年々本格的に)

チャリティーコンサートとして昨年11月に開催した音楽隊の定期演奏会には、たくさんの皆様にお越しをいただきました。本当にありがとうございました。

おかげさまで16万円余のご芳志をいただき、須坂市社会福祉協議会へプロジェクターを贈呈させていただきました。

今年も皆様に喜んでいただけるよう、おなじみのポピュラーソングをはじめ、吹奏楽の醍醐味を存分にお楽しみいただける曲目をそろえ毎週訓練に励んでいます。25回を迎える記念演奏会にご期待ください。



クラリネット
ソロの
中村 紀子
(東横町)

一般住宅用の火災警報器の 取り付けはお済みですか？

(長野県では、今年の5月31日までに設置完了するよう義務付けられました。)

設置義務化の概要場所

- 1 すべての寝室
- 2 寝室のある階の階段最上部
(一般居室へは煙感知型が基本です)



火災発生時 逃げ遅れ防止に有効です。
早めの設置をお願い致します。

長野県消防ポンプ操法大会・ 消防ラッパ吹奏大会が須坂市 で開催されます！

とき 8月2日(日)

ところ ▼県民グラウンド(ポンプ操法大会)
▼須坂市野球場(ラッパ吹奏大会)

大会では須高地区から小布施町(小型ポンプ操法の部)と高山村(ラッパ吹奏の部)が出場します。須坂市消防団は会場の設営と運営のお手伝いをします。素晴らしい大会になるよう、最善を尽くします。ぜひ県内各地区より勝ち抜いてきた消防団の活躍をご覧ください。みなさんの応援が消防団活動の力になります。



消防団員の声



第4分団 (分団長)
ニノ宮 光次郎

伝統をさらに
価値ある
ものにした

一月より第四分団長として任命されました。第四分団ではサラリーマンの団員がほとんどですので、仕事の都合等で全員が顔をそろえることは難しいところですが、それぞれ可能な範囲で活動をしています。そうした情勢下ではありますが「自分達の地域は自分達で守る」という精神のもと、今まで諸先輩が築き上げた伝統を更に大きな価値あるものとしていけるよう消防団活動に取り組んでいきたいと思っています。



第11分団 (1部4班長)
いちかわ ひろあき
市川 洋臣

活動を通して
消防団の重要性を
知りました

早いもので今年で入団八年目を迎えました。入団当初は、活動に参加しても何をしていたかわからずに参加しているだけでした。ポンプ操法や夜警などの活動を通し、消防活動の重要性を学びました。今年からは班長を任されることになりました。いままでよりも活動に対する意識を高め、仲間と協力し、頑張っていきたいと思っています。



第2分団 (分団ラッパ長)
わたなべ のりひさ
渡辺 則広

分団ラッパ長に
就任して

本年より、分団ラッパ長に就任させて頂き、昨年とは違った責任の大きさを痛感しています。



第5分団 (4部団員)
なかと なおと
岡 直人

消防団の水防
活動を見て入団を
決意しました

五年前に相之島に転居してきました。大雨による千曲川増水で、消防団が必死に水防活動をしていたのを見て、私も自分の家と地元を守らなければならぬと思ったこと。また、地域の同世代の知り合いを作るきっかけにと思い、消防団に入団しました。これからも消防団として地域の為に頑張ります。

新米なので先輩ラッパ長の皆さんをよく見習い、そして団員の方々の意見等もしっかりと聞き入れ、しっかりとまとめて行けるように取り組んで参りたいと思います。そして他分団との交流も計り、発展していければと思います。



須坂市消防団 ☆ 団員募集中

地域を愛する消防団に入団しませんか！きっとかけがえのない仲間ができるはずです。

【対象】 18歳以上の男女で市内在住または市内に勤務している方

問合せ 須坂市消防本部総務課 (☎026-245-4100)

e-mail: s-shobo@city.suzaka.nagano.jp

※お知り合いの消防団員に気軽に声をかけていただいても大丈夫です。

編集後記

編集委員長

中村分団長会長 (第三分団)

消防団員が、私たちの須坂市の安心・安全の為に、早朝・夜間・休日にも自らの時間を割いて訓練や予防消防活動を行っている現実を知っていただけるには、この広報紙が大変重要な役割を果たします。分団長会が中心となって編集しました。

市民の皆様の中に一人でも消防ファンが多く現れていただける事を願いながら発行している気持ちが伝わりましたら幸いです。

【編集委員】

- | | |
|--------|---------|
| 副団長 | 中澤 寛 |
| 副団長 | 成田 統 |
| 副団長 | 岩崎 仁 |
| 音楽隊長 | 滝澤 学 |
| 第1分団長 | 中野 昭 |
| 第2分団長 | 垂澤 清志 |
| 第3分団長 | 中村 公彦 |
| 第4分団長 | 二ノ宮 光次郎 |
| 第5分団長 | 吉池 淳一 |
| 第6分団長 | 小田 弘幸 |
| 第7分団長 | 塚田 武弘 |
| 第8分団長 | 村石 英児 |
| 第9分団長 | 山岸 信彦 |
| 第10分団長 | 竹前 誠 |
| 第11分団長 | 羽生田 英昭 |